

令和4年度 事業報告書

1. 機構関係

(1) 雇用奨励金の実施

観察所に登録された協力雇用主が、保護観察対象者等を雇用した実績に応じ、雇用奨励金、総額511,000円を対象21社、対象延人員46人に支給した。

(2) 犯罪予防を図るため世論の啓発及び広報事業等の実施

第72回“社会を明るくする運動”兵庫県推進委員会、兵庫県更生保護大会準備委員会に参画・助成をした外、兵庫県刑務所出所者等就労支援協議会、更生保護団体連絡協議会に参画し、関係者との連携強化を図った。

また、兵庫県暴力団離脱者就労対策協議会にオブザーバーとして参画する等、幅広く広報や連携を図った。

(3) 総会・理事会等

- ・令和4年5月10日機構事務所において、理事会（書面表決）開催
- ・令和4年5月26日楠公会館「菊水の間」において、通常総会開催
- ・令和5年2月15日機構事務所において、理事会（書面表決）開催
- ・令和5年2月28日機構事務所において、臨時総会（書面表決）開催

2. 法務省関係 「更生保護就労支援事業（兵庫県）」

(1) 就職活動支援業務

毎月支援開始累計133人（対前年1.5%増）年間支援累計291人（対前年12.4%増）と新型コロナウイルス発生の中でも前年より増加し、国の目標120人は達成した。支援対象者に占める矯正施設入所者の割合は32.3%であり、在所中の内定比率が約3分の1に及んでいる。

(2) 職場定着支援業務

毎月支援開始累計67人（対前年△14.1%）年間支援累計188人（対前年△19.3%）となり、新型コロナウイルスの影響が大きく影響したことで対前年より減少し、国の目標80人にはやや及ばなかった。

(3) 就労支援セミナーの実施2回開催 対象者参加数2人

3. 兵庫県関係 「保護観察対象者等雇用拡大促進事業」

(1) 協力雇用主拡大事業及び事業主に対する支援

兵庫県のご指導の下、協力雇用主募集のチラシを作成したり、各種の広報活動を行った結果、新型コロナウイルスが流行する以前のレベルに戻りつつある。

ア. 新規協力雇用主開拓60社（対前年57.9%増）

イ. 既存協力雇用主連絡実施回数230社、586回

(2) 更生保護就労支援講演会の開催

兵庫県・神戸保護観察所・当機構による兵庫県就労支援シンポジウムを兵庫県民会館で開催、協力雇用主・保護司・更生保護関係者等118名が参加し、好評のうちに閉会した。

(3) 「更生保護就労支援だより」の発行

「更生保護就労支援だより」を年3回発行、1回3,500部を関係者に配布し、活動報告や事業への理解を得ることに努めた。